

OU TALENT EUULATIUN

Violin. Piano. Cello. Flute. Koto by 3000 Children

- ●March 28 (fri) 1980 p.m. 2:00 ●NIPPON BUDO-KAN TOKYO
- Admission—Reserved Sheat=¥1000

第26回才能教育全国大会コンサート

〔バイオリン・ピアノ・セロ・フルート・箏〕

3000人の児童による大合奏

- ●とき―― 昭和55年 3 月28日〔金〕P.M.2:00 ●ところ― 日本武道館大ホール〔東京・九段〕 ●入場料 ―― 指定席 ¥ 1 0 0 0



第26回才能教育全国大会コンサート大会役員

●大会委員長………本多正明

●大会副委員長……田中金重

●大会企画委員長………広瀬八朗

●大会企画副委員長……・大熊庸生

安田広務

●東京事務所………水野明夫

●企画委員

(指導者)

原 まり子 足立佳代子 牧野 郁子 山本 真嗣 佐藤 勝夫 富川 歓 青木 博幸 村上 豊 三樹 正 渋谷 重良 津田 吉男 大坂 和彦 金沢 裕久 印田 礼二 角永 操 上野日出子 (支部長)

藍川 安隆 平岩 恵子 中川 匠 山本 和人

●贊助出演〔箏〕·······正派邦楽会 総栽・家元・中島靖子

●ピアノ伴奏

秋葉 三佐子 印田 倫 子

細田 美恵子 黒川 美方子

写真提供:田中伸子



●本部

〒390 長野県松本市深志3-10-3☎0263(32)7171

●東京事務所

〒101 東京都千代田区神田駿河台2-9 主婦の友文化センタービル 2 F ☎03(295)0270

●東海事務所

〒464 名古屋市千種区春岡通4-15 大沢美良方 ☎052 (751)3436

●再び子供の可能性に思う

あり、大変有意義な又楽しい雰囲気でした。

昨年6月ミュンヘンで第3回世界大会が開催され、各国から千人近い音楽教育関係者が、参加されました。会期中、世界14ケ国の代表により、インターナショナル、スズキ、アソシエーションが設立されました。この組織を通して全ての子供の可能性について研究し、更に音楽を中心に世界の人々の友情と理解をふかめようというのが根本的な考えです。長年この設立を念願しておりましたゞけに大変嬉しく思いました。世界大会では毎日多くの人々の講演や各国の生徒の演奏が

私は脳障害児の治験例について講演し、一例として10才の T君にラ・フォリアのバイオリン演奏をお願いしましたがそ の見事な演奏をきゝ、多くの人々は感動の涙を流しました。 と云うのは彼は生まれた時重い疾病にかゝり、生存も危ぶま れたからであります。3才からバイオリンを始めましたが、 先生やお母さんの献身的な努力により、こゝまで才能を育て ることができました。この他にも障害児がピアノを始めて2 年で3巻のソナチネを上手に弾いたり、日本舞踊を踊ったり、 漢字を短時日で数百覚えた実例が多々あります。このように 障害のある子供達でも、指導や訓練で高い能力を育てること を知り、私は再び子供の素晴らしい可能性にふかく思いをい たしております。



●大会委員長 本多正明

Chairman of National Concert

Masaaki Honda

• THE GREAT POTENTIALITIES OF CHIDREN

In June last year the third World Music Assembly of the Susuki Method was held in Munich with an attendance of nearly 1,000 people who were all interested in the music education.

During the assembly period the representatives from 17 countries agreed to establish the International Suzuki Association.

The guiding idea was to unite our efforts in exploreing potentialities of children and to promote friendship and understanding among nations by means of music. It was an unexpressible joy for me to see our long-

cherished plan become reality. The assembly also included lectures and concerts which all the participants enjoyed and benefited from.

I myself lectured on a case of curing a child's brain trouble. T, a ten-year-old boy who accompanied me to the assembly, played La Folia (A. Corelli) on the violin Superbly and moved the audience to tears. At birth he was so seriously ill that even his life was in danger. But his mother and teachers devotedly cared for him and taught him to play the violin after the age of three. No one could have imagined the progress he has made since.

We know many other cases: where a handicapped child learned to play Sonatine (kuhlau) on the piano excellently in a bare two years; where a girl learned the traditional Japanese dancing; and where another child learned hundreds of Chinese characters quickly. Our experience elloquently tells that handicapped children can develop high ability only if they are properly educated. I am deeply impressed with their great potentialities.

●世界中のどの子も育つ教育法

0才からでも、優れた感覚の人に育てることが出来る。と の幻児の、能力をも立派に育てることの出来る音楽の教育よ り以上の教育が、一体外にあるでしょうか。

私は地上の総ての子供達の生命のその大いなる力と働きを 知った為に、40数年に亘つて、先づ音楽でどの子も高く育てて、 こうして社会に訴えついけているのです。

事実、能力は生れつきではなく、育てなければどの子も低 能児にもなり、育て方が正しければどの子も実に能力が立派 に育つことをはっきりと知り実証しているわけです。

私共のこの教育法の革命運動は、「人間教育」を目的としている運動です。音楽の専門家をめざすのではありません。その音楽によって育てられた子供達は、人柄の美しさと、実能力が育つので、学校での成績は、当然最も優秀である。その事実は、40年来の明らかな事実です。

教育の革命として「鈴木メソード」は今や全世界に拡がりついあります。その教育法は、世界中の子供達がすくすくとよく育ってゆく母国語の教育法をそのまいに行なっているのです。世界中のベビーが、〇才から正しく人間として教育される時代が、数百年後には必らずくることでしょう。貴方の今日の御光来を感謝すると共に、どうぞ三千名の子供達の大合奏をお聞き下さいませ。



●才能教育研究会会長

鈴木鎮一

President

Shinichi Suzuki

• THE BEST METHOD OF EDUCATION FOF EVERY CHILD IN THE WORLD

What other better education can we find than the one of music which helps children develop their fine senses from their birth and which applies to every child

from their birth and which applies to every ch in the world?

Since I became aware of the great power and work of life endowed with every child on earth, I have been engaged in educating children through music and in stimulating public understanding towards its significance for over 40 years.

Indeed, it is known and proven by us that human ability is not predetermined. Children can be weak-minded or brilliant depending on the way we educate them.

Our movement of revolutionalizing the educational method

aims at "human education." It is not intended for producing musicians. For over 40 years we have seen the children develop fine personality and high ability through this revolutionary music education. No wonder they did very well at school.

The 'Suzuki Method" is now accepted worldwide as a revolution in education. The method directly takes after the way children learn their mother tongues with much ease. I believe that some day in the future all childen of the world can benefit from the right method of education from their birth.

Thank you for joining us today in listening to the grand concert by 3,000 children.

●世界中に公認されたスズキ・メソード

毎年毎年この音楽会に出席している私達には、それ程不思議にも思いませんが、初めてここへ来られて小さい人達の演奏をきかれた方々には、正に奇跡そのものであろうと思います。

「どの子も育つ 育て方一つ」という鈴木先生の主張されることを実験して、その見事な結果を世界中に示すのがこの大会の一つの大きな意義であろうと思います。

この奇跡は日本でだけでなく、今や世界で公認されたと思ってよいでしょう。

昨年は国際研究大会がヨーロッパに移り、ミュンヘンで参加国16ヶ国668名が集って盛大に行われ、その後パリに名国の理事が集って国際スズキ協会が結成され、いまや「スズキメソード」は世界のものになりきったのです。

これは全く音楽教育の分野に火がついたばかりでなく、人間の教育というか、むしろ人間づくりの一つの革命的方法として世界中が高く評価したことにほかならないわけで、本家本元の私共日本がもっとはっきり認識しなければならないのではないでしょうか。

人類共通の言語、それも幼い人達によって奏でられるこの音楽が、世界の親善と平和のための共通のランゲージの役目をはたしてくれるとすれば、「スズキ・メソード」は教育分野だけでなく人類にとっては大変重要な意味を持っていると申せましょう。

この普及にみんながもっともっと真剣に務めなければならないと思います。

それにはこの大会の大演奏会のはたす役割も大変重要なも ので、例年の様な成功履に終了すること念ずる次第であります。



●幼児開発協会理事長

井深 大

Board of Director

Masaru Ibuka

• THE "SUZUKI METHOD" THAT HAS WON WORLDWIDE RECOGNITION

A concert by infants may be a miracle to those who listen to it for the first time though it has now become an annual event for us.

The concert demonstrates the 'Suzuki Method' at work and serves to expound his belief that 'the mind and the talent of children are not predetermined and that those qualities can be made to grow in every child."

Now it can be said that the miracle was recognized not only in Japan but also all over the world. Last year the concert took place outside Japan for the first time And in Munich where it took place,

there gathered 668 children from 16 countries. A meeting was then held in paris by directors represeting various countries and the International Suzuki Association was established. The "Suzuki Method" thus has won a worldwide recognition.

The world today recognizes that it is not only a new method of music teaching but also is a revolution in human education.

We Japanese should become more aware of this fact which has already been accepted by people all over the world.

When we realize that music, the common language of mankind, being played by children, promotes good will and peace among nations, the significance of the "Suzuki Method" cannot be confined to music alone, but its implication is far more reaching for mankind. So, more and more efforts should be made to help people around the world benefit from the method. For that purpose, today's concert will play a key role and I wish a real success of the concert this year, too.

1980年全国大会プログラム

第28回卒業式(午後1時)

卒業生演奏「ユダス・マクベス」からの合唱	^	ン	デ	ル
挨 拶	本	多	正	明
挨 拶				
卒業証書授与・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・				
卒業生代表挨拶				
祝 辞理事長	井	深		大
卒業演奏 ガボット・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		セ	"y	ク

第26回 全国大会 (午後2時)

箏とバイオリンの合奏	1. 春 の 海宮 城 道 雄
セロ合奏	●a. ソナタ ホ短調 第1.2楽章ビ バルディ
	b. 妖精の踊りパ ガ ニ — ニ
	c. メヌエット(1巻)······バッハ
	b. キラキラ星変奏曲·····
筝 合 奏	● 六段の調べ八 橋 検 校 \ この2曲を同時に 松 籟 譜中島雅楽之都 ∫ 演奏します。
弦楽合奏	2. アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク 第1楽章モーツアルト
ピアノ独奏	●イタリア協奏曲 第3楽章バッハ
バイオリン合奏	3. ソナタ ト短調 第1.2楽章エックレス
	4. 協奏曲 イ短調 第1楽章バ ッ ハ
	5. アレグロ・・・・・フィオッコ
フルート合奏	●a.「アルルの女」よりメヌエットビ ゼ ー
	b.「ベニスの謝肉祭」よりアレグレットジュナン
	c. アマリリス······ギ ス
バイオリン合奏	6. 二つのバイオリンの為の協奏曲 第1楽章バ ッ ハ
	7. 協奏曲 イ短調 第1楽章ビ バ ル ディ
	8. ブーレバッハ
	9. メヌエット・・・・・・ボッケリーニ
	10. 二人のてき弾兵シューマン
	●鈴木先生と一諸に
	こぎつねドイツ民謡
	蝶 々ドイツ民謡
	アレグロ
	無 窮 動
	キラキラ星変奏曲
全員で合唱	●おねがい·····

THE 26th NATIONAL CONCERT PROGRAM

P.M.2:00

KOTO and VIOLIN●	1. Haru no Umi——M.Miyagi
	a. Sonate in E min. 1st and 2nd mvt.——Vivaldi
	b. Witches Dance——Paganini
	c. Menuette——Bach
	d. Twinkle, Twinkle, Little Star Variations—S. Suzuki
кото •	Rokudan K. Yatsuhashi To be played Continuously
	Shouraifu——U. Nakazima
STRINGS	2. Eine Kleine Nachtmusik K.525 1st mvt.—Mozart
PIANO SOLO	Italian Concert 3rd mvt.——Bach
•	3. Sonata G min. 1st and 2nd mvt.——Eccles
	4. Concert A min.1st mvt.——Bach
	5. Allegro——Fiocco
FLUTE●	a. Minuet from "L'Arlésienne"——Bizet
	b. Allegro from "Carnaval de Venice"———Genin
	c. Amaryllis——Ghys
VIOLIN •	6. Concert D min. for Two Violins 1st mvt.——Bach
	7. Concert A min. 1st mvt.——Vivaldi
	8. Bourrée——Bach
	9. Minuet——Boccherini
	10. The two Grenadiers——Shumann
	With Dr. Suzuki
	Song of the Wind·····Folk Song
	Lighttly Row ·····Folk Song
	Allegro ·····S. Suzuki
	Perpetual Motion S. Suzuki
	Twinkle, Twinkle, Iittle Star Variations S. Suzuki
CHORUS •	Wishing————————————————————————————————————













世界に響く!

広瀬八朗

大会企画委員長



皆様、今日はよくいらして下さいました。 全国各地より今日集まってきた生徒達がリハ ーサル無しでやるこの演奏会は今年で26回目 を迎えます。26年前に第1回の全国大会を千 駄ケ谷の東京都体育館で開催した訳ですが初 めての時はその会場の大きさにびっくりして 我々は準備や整列に走り回ったものです。今 考えてみますと大きな会場といっても生徒の 演奏しているすぐ近くに皇太子殿下、多数の 宮様方がお坐りになっていらした席が見えた ことをはっきり思いうかべられます。多勢の ンド氏も熱心に運動なさっているときいてい に本当に感激致しました。その時のお客様のを合わせ涙を流されました。 一人である当時の駐日フィンランド大使はそ 昨年の大会も皇太子殿下御一家はじめ17ヶ

お客様はじめ鈴木先生や我々指導者達も、体ます。この25年間の大会には多勢の世界の有 育館一ぱいに広がる子供達のすばらしい響き 名人をはじめ多くの人達が子供達の演奏に手

の感動をフィンランドの新聞に書き送られま 国の大使夫妻、そしてその他、多くの国の方 した。その後、フィンランドでは数年前から 々がいらして下さって本当に世界の話題であ 才能教育が広まりその大使であったスメズラ るわけです。「どの子も立派に育つ」この実 証を今年も3500人の生徒で演奏(武道館から 世界に響かせるわけです)を行うわけですが 実はこの会場も数年前から手狭になり新入生 を曲目で制限して1500人以上も見学生と称し て演奏を待ってもらっておりますのは残念な

昨秋恒例の才能教育の生徒の海外派遣演奏 旅行でヒューストンへ行きました時に世界一 の室内競技場のアストロドームを見学させて 頂きました。全国大会の事を考えそのステー ジ (グランドの事) の大きさ、5万席のゆっ たりした観客席を本当にうらやましく思った

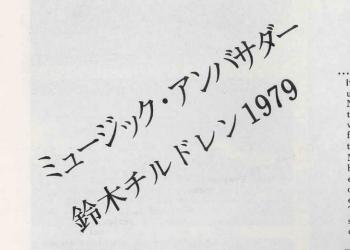
事でした。向こうの人達にその話をしますと、 とても喜んで下さいました。彼等は日本の全 国大会に是非参加したいものだと云い又その 他各国各地の人達が一度この武道館の演奏を 聴きたいと願っておられる話を聴きまました。 今にどんな大きな会場でも駄目になる日がく るかもしれません。各国の人達が「どの子も 育つ育て方一つ」と訴え、世界中の子供が鈴 木メソードで育てられる日がくると信じます。

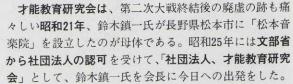


Music Ambassadors

IN 1 9 7 9 —

Suzuki Children





「どの子も育つ、育て方ひとつ」という鈴木会長の信念を基に、英才教育とは全く異なる、一般の子供を幼児から、母国語の教育(即ち一つの環境に馴染ませれば、その環境がその子供にとって自然なものになる。という教育法)を行なうことによって、以来30年、大きな成果をあげてきた。

この ^{*}スズキ・メソード[#] は国内にとどまらず海外でもその信奉者が増々、特に米国では、10万人の子供達が、米国内の^{*}スズキ・メソード[#]でバイオリンやピアノを習っている。

むしろ、日本国内の生徒数が2万人を越える程度である ことを思うと、この ^{*}スズキ・メソード"は国内よりも 海外で高く評価されているとも言える。

海外への静かな波及の第一歩は昭和30年3月、東京千駄ケ谷で開催された、第1回全国大会だった。フィルムに納められた800名の児童による、バッハのドッペルコンチェルトの大合奏が米国に送られたのがきっかけで、10年経った昭和39年3月、初の訪米演奉旅行が実現した。

参加した児童は僅か10人だったが、その演奏は米国の 音楽界に大きな衝撃を与えたといわれる。

It all started in 1946 when Mr. Shinichi Suzuki set up the 'Matsumoto Music Academy'' in Matsumoto City, Nagano Prefecture, right atfer the war. The organization was formally incorporated in 1950 with an approval granted from the Ministry of Education. The Institute for Talent Education, has since kept growing under the leadership of Mr. Suzuki, presidant of the institute. Mr. Suzuki believes that 'talent is not predetermined; but it can be made to grow in every child by means of education." Based on this philosophy, the Suzuki method of music education provides children with natural environment as when they learn their mother tongue. This 'mother tongue education' is quite different those special educational systems developed for brilliant children. It proposes to immerse children in natural





次いで、昭和41年10月に第2回、42年10月に第3回と、 才能教育研究会児童による訪米演奏旅行が実現し、米国 での"才能教育"に対する評価は一段と高まった。

そして**更に10年の歳月を経た昭和54年**は、*才能教育"がかつてないほどの脚光を浴びた年であった。

30年にわたる *才能教育 ″ の花が一時に開いた記念すべき年である。

4月3日には、研究会本部がある松本市の姉妹都市である、米国のソルトレーク市に招待された。松本支部の7才から14才までの児童29人は、ユタ・シンフォニー・オーケストラの伴奏で、モルモン教の年輪を刻んだ大ホールで演奏、6,000人の大聴衆を魅了した。なおソルトレーク地区には「スズキ・メソード"の教師50名が1,000人の生徒を教えているという。

翌 5月には、**モナコ**のモンテカルロで開かれたユネスコ主催の国際児童年記念演奏会に日本代表として研究会の生徒が参加した。

この演奏会は、フランス、米国、ソ連、オーストリア、 それに日本の、5ケ国から14才前後の少年少女が1名ず つ選ばれ、レーニエ三世大公、グレース王妃、キャロラ

musical environment so that it may become a part of their life. The method proved to be a great success during the past 30 years.

Not only in Japan but also overseas the followers of Mr. Suzuki are increasing. Particularly in the U.S., about 100,000 children are being taught to play the violin and the piano under the Suzuki method. This number, when compared with the 20,000 and odd in Japan, shows that the method has obtaned the higher appraisal abroad.

A step toward overseas was made as early as in 1955 when the first Talent Education National Concert was held in Tokyo. A film showing 800 children playing Bach's concerto on the violin was sent to the U.S. The film excited interest there, finally leading to the first concert tour to the U.S. in March 1964. The tour, though made by only ten children, is said to have made a great impact on American people. It was followed by the second tour in October 1966 and the third in October 1967 to make the "talent education institute" increasingly popular in the U.S.

The year 1979 proved to be the most eventful in the history of the talent education institute. Efforts over the past three decades were amply rewarded and bore fruits all at once in that year.

On April 3, 1979, 29 children the ages of seven and 14 from Matsumoto City performed before a 6,000 audience in Salt Lake City, Utah, which has a sister city affiliation with Matsumoto City. The children were invited by the sister city and played to the accompaniment of the Utah Symphony Orchestra in a grand hall associated with the long history of the Mormon Church.

イン王女出席のもとに、モンテカルロ国立歌劇場管弦楽団の伴奏で演奏するもので、日本代表は東海地区、刈谷支部の上田明子さんが参加し、パガニーニのバイオリン協奏曲第1番を演奏した。この光景はフランス国営テレビが中継放送した。

6月末、東京では西側の首脳が集まり、**東京サミット**が開かれたが、これに出席するため来日したカーター大統領の傍らには、バイオリンを携えたエミーちゃんの姿があった。

エミーちゃんは両親が笑顔で見守る中、東京地区のバイオリン指導者で、鈴木会長の姪に当る石川裕子さんから、米国大使公邸で第2回のレッスンを受けた。

同月26日から30日まで、西独のミュンヘンで、ジスズキ・メソード 国際研究大会が開かれた。この大会は1年おきに外国で開かれるが、1、2回のハワイ大会に続いて



There in Salt Lake City about 50 instructors of the Suzuki method give lessons to approximately 1,000 children in the area.

The next month or in May 1979, one of the Suzuki children attended a concert in Monte Carlo, Monaco, sponsored by UNESCO in commemoration of the International Year of the Child. Miss Akiko Ueda of the Tokai area represented Japan and joined in the concert together with other representatives from France, the U.S., the USSR and Austria. These five boys and girls of ages around 14 performed to the accompaniment of the Monte Carlo National Theater Orchestra while prince Rainier III, Princess Grace and Princess Caroline were listening. Miss Ueda played a violin concerto composed by Paganini and her performance was televised by the French national television.

In late June when the Tokyo summit was held with the leaders of the West in attendance, accompaying President Carter to Tokyo was his daughter, Amy, who was carrying the violin with her. In the official residence of the Ambassador she was given a lesson by Miss Hiroko Ishikawa for the second time. Miss Ishikawa, a niece of Mr. Suzuki, is a violin instructor in the Tokyo area. The parents were looking on at Amy with a smile while the lesson was going on. From June 26 to 30, the third International Assembly for Studying the Suzuki method was held in Munich, West Germany.

The assembly, which normally takes place every two years, was first held in Europe after the first and second assemblies were held in Hawaii. The third assembly was attended by 668 people from 17

初めてのヨーロッパでの第3回大会となった。17ケ国、 668人が参加し、ミュンヘンのシエラトンホテルを会場に、 日、米、欧の子供達150名による、ビバルディのAモール、バ ッハのブレーンなどの合同演奏会が連日繰り広げられた。 日本からは74人の生徒が参加したが、特に脳障害児とい われている高橋宏幸君(10才)のラ・フォリアの立派な 演奏は多くの人々の感動的な場面を現出した。

ミュンヘン大会の帰途、7月4日にはパリ市庁の大ホ ールでシラクパリ市長(前フランス首相)夫妻主催、日 本大使館後援で演奏会が行なわれた。ロンドンから駆け つけた生徒35人に、日本、ベルギー、フランスの子供達 も加わって、総勢140人の合同演奏が、朝時代の宮殿 を思わせる大ホールいっぱいを、あでやかな音色で満た した。この演奏会風景もテレビで全フランスに紹介され

同じ日、古都リヨンでも松本支部の生徒6人が、町の 中心にある国立大学のホールでコンサートを開いた。リ ヨン市には、松本で2年間指導を受けたクリストフ氏が 3才、4才の児童50人を教えているが、700席のホールに は文字通りの満席で、プログラムの終り頃にはクリスト フ氏の教え子も加わって「キラキラ星」を合奏、時なら ぬ日仏交歓風景が現出された。

これより先の6月11日から20日まで、フィンランドの ヘルシンキ 郊外にあるケラバの音楽学校でスズキ・メ ソード"の講習会と演奏会が行なわれた。

countries and opened in the Sheraton Hotel where 150 children reprenting Jap n, the U.S. and Europe gave joint concerts and played works of Vivaldi, Bach and other composers throughout the period. of these children, 74 were from Japan. Mr. Hiroyuki Takahashi, a ten-year-old boy with brain trouble, played the violin superbly and moved the audience to tears. On July 4, following the performance in Munich, 140 children gave a joint concert in paris where 35 children from London joined others from Japan, Belgium and France. The concert sponsored by paris Mayor Chirac, former French premier, and his wife as well as by the Japanese Embassy took place in the city hall of paris and was televised throughout the nation from that palatial building.

On the same day anotherconcert was being held in the ancient city of Lyons. The auditorium of a national university in the central part of the city was chosen





八朗氏に引卒されて9才から11才の5人の生徒が、この 会に参加した。5人の生徒が演奏するバイオリンの音 色が北欧の空に流れ、1時間にわたって収録されたビデ オがテレビで放映され、視聴者の注目を浴び、大きな成 果をあげた。

昭和54年は日本人がペルー移住してちょうど80年にあ たり、リマで「日本人ペルー移住80周年祝典」があった。 スズキ・メソードはこの祝典に正式の招待を受け、17人

for the site of the concert given by six children from Matsumoto City. There in Lyons, Mr. Christophe Bossuat who previously had stayed in Matsumoto for two years was teaching about 50 children of ages around three and four. These children joined the friends from Matsumoto City in playing Twinkle, Twinkle, Little Star Variations toward the end of the program and impressed a capacity audience of 700 with international friendship.

Earlier in the year, from June 11 to 20, lectures and demonstrations of the Suzuki method were given at a music school of Kerava in the suburbs of Helsinki, Finland. Joining in the demonstration were five Japanese children between the ages of nine and 11 who were led by Mr. Hachiro Hirose, an instructor of the method in the Kanto area. They were invited by the Ministry of Education of Finland. An hourlong performance of the children was filmed and televised, creating a deep impact on the nation-wide

In peru, the year 1979 was the 80th anniversary of the Japanese immigration to peru and an anniversary celebration was held in Lima, the capital. A 17-member party of the Suzuki Institute was formally in invited to the calebration and arrived at the Lima Airport on October 2. The party consisted of four violin instructors, one pianist, eight violin-playing children, one piano-playing child, one cello-playing child and Mr. Honda, director, who headed the party. On the day they arrived, they called at the Japanese Embassy, attended a reception and visited the Lima Broadcasting Station to go on TV. The next day, the party members paid a courtesy call on the Minister

この一行は、1979年タレント・エデュケーション・ツ アー参加者で、本多理事を団長にバイオリン指導者4人、 ピアニスト1人、バイオリン生徒8人、ピアノ、セロ生 徒各1名、計16人で、10月2日、リマ空港に到着、日本 大使館で、レセプションのあと、直ちにリマ放送局でテ レビ出演、翌3日朝は文部大臣に挨拶のあと午前11時か ら野外劇場でコンサート、午後はリマ市長夫人に挨拶し て演奏をきかせた。

*夜はムニンパル劇場で公式コンサート、翌4日は午前中 を市内観光で過し、午後は文部省でコンサート、夜は



of Education, gave a concert at an open-air theater Campo de Marte" called on the mayor of Lima and his wife in the afternoon to perform before them. At evening, they gave a concert at the Teatro Manicipal On October 4, they enjoyed a city tour in the morning, gave a concert at the Ministry of Education in the afternoon, and in the evening attended a farewell party sponsored by the calebration committee. Thus, these little music ambassadors successfully completed a heavy schedule there.

Then the party flew to Stanford, California, where they started on a concert tour of 16 cities in 10 states. The Suzuki method was demonstrated in Angwin California; Portland Oregon; Wishbone, Illinois; and other cities.

After the tour of the U.S., they arrived in Mexico on November 13 to give a concert at the National Opera Theater in Mexico City. The president of Mexico and hiswife were in the royal box of the theater and were so deeply impressed with the performance that they desired another performance at the presidential residence the next day. But this did not materialize since the schedule did not admit of it. The party nonetheless impressed Mexican people and returned



FL COMERCIO

JUN2 2 1979



Orquesta infantil del Japón ofrecerá conciertos en Lima

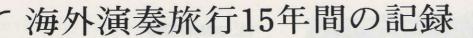
Una orquesta japonesa ternacional de los Niños octubre de 1898, hijo de infantil de violines dei famoso Instituto de Educación del Talento del maesprofesamente, la línició sus estudios de vioción del Talento del maesprofesamente, la línició sus estudios de vioción del Talento del maesprofesamente, la línició sus estudios de vioción des Talento del maesprofesamente, la línició sus estudios de vioción des maesprofesamente, la línició sus estudios de vioción del Talento del maesprofesamente, la línició sus estudios de vioción del Talento del maesprofesamente, la línició sus estudios de violínició sus estudios de línició sus estudios de línició

祝典委員会主催のお別れパーティーと息つく暇もないス ケジュールを無事終え、チビッ子音楽大使の大任を果た

ペルーでの日程を終えた一行は、カリフォルニア 州のスタンフォードを皮切りに、同州アングイン、 オレゴン州のポートランド、イリノイ州のウオッシュボ ーンの順に10州16都市でコンサート、講演を行ない、ス ズキ・メソードを紹介した。

米国でのツアーを終えた一行は11月13日にメキシコ入 り、メキシコ市の国立歌劇場でコンサートを開いたが、 このコンサートには、メキシコ大統領夫人も出席された。 大統領夫人は、非常に感動されて、翌日の大統領官邸 での演奏を強く希望されたが、残念ながら日程の都合で 実現できなかった。それでもなお `スズキ・メソード"





スウェーデン

ストックホルム

アイルランド

英国 ______ ロンドン(4),マンテェスター(2)

バーミンガム, ウィンフォード

ポルトガル

西ドイツ

ベルリン

リスボン

ブリストル、チェスター

シェーフィールド,エア

(スコットランド)

アメリカ40州、141都市をはじめ世界12ケ国 170都市に 252回にわたって訪問

●鈴木チルドレン海外演奏旅行15年間の驚くべき足跡記録

このツァーは、毎年10月から11月にかけて40日前後の長い日程で行われ、メンバーは、バイオリンを中心としたセロ、ピアノ、フルートの $6\sim7$ 才から $12\sim3$ 才の生徒10名と、指導者 $3\sim4$ 名、ピアノ伴奏者、引卒団長の約16名です。

第1回は、昭和39年3月5日出発、同月26日帰国。昨年の第15回は、昭和54年9月30日出発、 11月14日帰国。

現在アメリカでは、鈴木メソードでバイオリンを習う子供達が10万人もいますし、一昨年の夏はスズキ、サマースクールが何とアメリカの30ケ所以上で開かれています。この信じ難いほどの事実も、次の訪問記録を見ていただければ成程と納得されることと思います。

コロラド

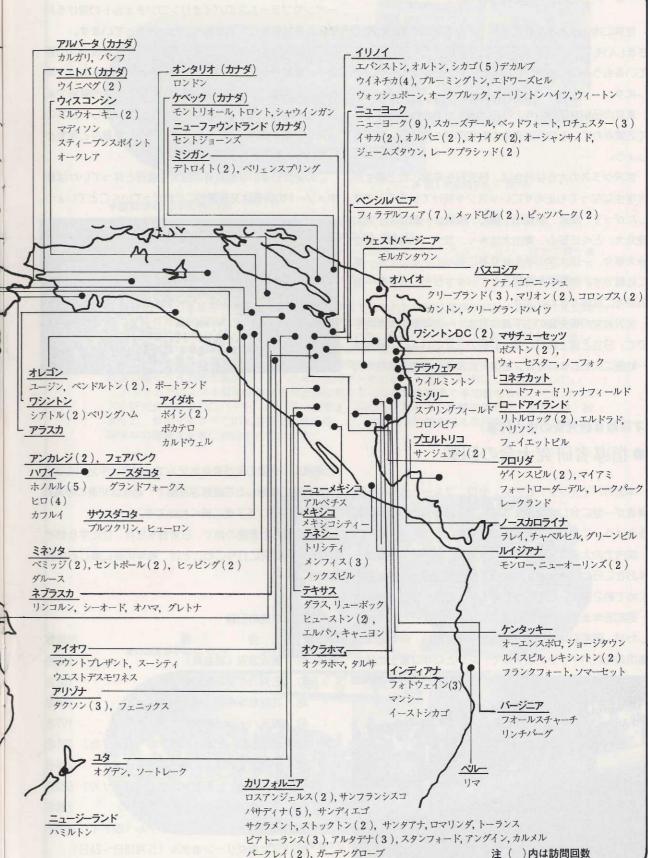
ウイチタ, エンポリア, オタワ(2)

オーストラリア

ブリスベン

メルボルン、ホボート、シドニー

トピカ、パーソンズ



●もう一つの大きな力

ざましいものがありますが、この活動の強力な基盤となっ します。

しょう。

大学生になっても止めずにレッスンを続けていることです。木メソードの評価は又飛躍的にたかまっていくことでしょう。 したがって、東大、早稲田、慶応、教育大、都立大、外大、 東北大、とくに聖心、青山大は多く、芸大、武蔵野、国立 音大等々、一流大学の学生が見事に揃っているのです。実 に壮観です。勿論学業優秀ときていますから、夫々第一級 の会社に就職するわけです。

宮沢教室の最先輩の山下潤二君は、一昨年東大大学院を でて、日立と富士銀行と第一勧銀の三社にパスし、結局第 一勧銀に入社しましたが、彼は又高校時代の陸上競技の代

表選手でもあり、私は彼が大いに頑張ってくれて、ペート ーベンやブラームスのバイオリンコンチェルトの弾ける同 世界に向って推進するスズキ・チルドレンの活動にはめ 銀行の最高幹部になってもらいたいと思っています。

この宮沢教室の在り方こそ、ガルプレイス教授の次の言 ているもう一つの素晴しい成果があることをお知らせいた 葉 - 「官僚や企業の教養の中で最も欠けているものは、現 代の巨大組織にもっとも異質なもの、即ち芸術的意識であ 東京の品川支部、例年のこの全国大会の企画委員長としる。この導入によって、日本の官僚や企業は新しい日本の て活躍されている宮沢進先生の教室の例を御紹介いたしま 未来像を描く資格が与えられるであろう」を着々と現実化 していると言えましょう。

宮沢クラスの大きな特色は、研究科を卒業した上級生が、この姿が日本の才能教育の巨大な底流となっていけば鈴



〈才能教育研究会の中心行事〉

●指導者研究大会の回顧

導者が一堂に会し、寝食を共にして、鈴木会長の集中講義 原ホテル、そして下表に続くわけです。 をうける。これが研究大会の眼目です。

年おきに行われ、6月下旬から7月上旬にかけて観光もふ事です。 くめて約2週間。この形が今後もずっと続くことでしょう。 昭和39年までは本部所在地の松本市で毎年行われていま したが、昭和40年に始めて会場を京都に移し、41年には福 島市の花月ハイランドホテルで、42年と43年は富士の眺め



の素晴しい伊豆の天城東急ホテルで、44年は宇治川のほと 本会のバイオリン、ピアノ、セロ、フルート各科の全指 り平等院に隣接した花屋敷浮舟園で、45年は初夏の妙高高

都市を離れた景勝の地で、日常性を忘れ、ひたすら鈴木 国内での大会は、5月下旬の一週間。海外での大会は一 メソードの研究に打ちこむことは、毎年の実に楽しみな行

最近10年間の記録

年度	会場	出席数
昭和 46	飯坂温泉(福島県)	146名
/ 47	. 三河ハイツ(愛知県)	162名
/ 48	. 花屋敷浮舟園(宇治市)	156名
4 49	. 蔵王ハイツ(宮城県)	177名
<i>4</i> 50	. ホノルル・ヒルトンホテル(フ	アメリカ) 871名
√ 51	. 天城東急ホテル (静岡県)	219名
v 52	2. ホノルル・ヒルトンホテル(フ	アメリカ) 623名
√ 53	- DIN VI - II / TANIE	
/ 54		
	5. 三ケ根グリーンホテル(5月1	

夏期学校30年の想い出



▲ 第1回夏期学校S.26/8

●夏期学校30年の想い出

第1回夏期学校は、昭和26年8月17日から6日間、信州の霧ケ峯高原で行われ、松本、東京、 名古屋、大阪などの25支部から109名の生徒が参加しました。

日本が敗戦から立直り、丼一杯のごはんがやっと自由にたべられるようになり、宿舎の霧ケ峯 ホテルも夜になると自家発電の豆電球がポツンとつくといった時代でした。毎日のコンサート も、当時の最上級生がまだ6巻位で、志田とみ子さんただ一人がモーツァルトの4番の協奏曲を ひき、皆うっとりとききほれたものです。

昭和42年8月に松本市外浅間温泉の本郷小学校で行われた第18回夏期学校は、苦難のすえに現 在の才能教育会館が竣功すると同時に、アメリカ弦楽教育者協会(American String Teachers Association)のメンバー68名の方達が、当時の会長バン・シックル教授を団長に大挙し て来日された、本会にとって実に画期的な年であり、夏期学校でした。

その当時アメリカ全土に、鈴木メソードが爆発的な影響を与えていたからです。日本にきて子 供達の驚くべき演奏を眼前にして、日米の気持が一体となり、喜びと感激につゝまれました。

アメリカでのスズキ夏期学校は日本とは比較にならない程広範囲で参加者も多く、イサカ、ス ズキ研究会指導者のロバート・カリアー教授は、「鉛が金に変るような質的変化が、子供、親、教 師など、参加するすべてのものの上におこる。」と、年々盛況の度を加える日本とアメリカでの夏 期学校の意義を見事に表現されています。



第18回夏期学校S.42/8



▲ 第30回夏期学校S.54/8

